

常磐支所について

平成 26 年 5 月 25 日(月)

J R A 競走馬総合研究所常磐支所

1. 常磐支所

- ・ 競走馬の故障を温泉療法によって治療すること、および温泉療法に関する調査研究を目的に、昭和 38 年 5 月に設立されました。
- ・ 常磐支所の総面積は約 16h a で、採草地 (8ヶ所約 3.3h a)、事務管理棟、馬診療所、装蹄所などがあります。またリハビリ施設として、温浴場、ウォータートレッドミル、ウォーターウォーキングマシン、スイミングプール、および 1 周 400m の調教馬場などがあります。
- ・ 職員は、獣医師 2 名、装蹄師 1 名を含む 9 名おり、入所馬の管理は、個々の調教師に委託を受けた臨時厩務員が行っています。
- ・ 入所できる馬は、本会の競馬場 (全国 10ヶ所) や美浦、栗東のトレーニングセンターで故障を発症し、本会獣医師により支所での療養が必要と診断された中央競馬の登録馬です。療養馬は屈腱炎や骨折などの運動器疾患罹患馬がほとんどです。

2. リハビリ一般

- ・ 療養馬の内訳は、腱、靭帯の疾患が約 60%、四肢の骨折が約 30%、その他 10% (関節炎や筋肉疾患等) です。
- ・ 平均療養期間は概ね 6 ヶ月です。屈腱炎など腱・靭帯の疾患では、1 年以上に及ぶこともあります。
- ・ 平成 26 年の実績は、入所した馬が 40 頭、退所した馬が 42 頭であり、療養馬の実頭数 64 頭、延頭数 8,665 頭でした。退所馬 42 頭の内現在までに出走した頭数は 30 頭です。
- ・ 現在の入所頭数は 23 頭 (5 月 25 日現在)。過去に入所した有名馬にはティエムオペラオー、オグリキャップ、トウカイテイオー、グリーングラス、ヒシミラクル等がいます。

3. プール調教について

- ・ 水温 16℃を基準にし、水が温んでくる毎年 5 月下旬から調教を開始しています。
- ・ 平成 26 年のプール使用状況は実頭数 24 頭、延頭数 582 頭でした。
- ・ スイミングプールは、アメリカのハリウッドパーク競馬場の円型馬プールを参考に、昭和 50 年 5 月に我が国最初の競走馬専用プールとして常磐支所に建設されました。その後、本会の栗東、美浦両トレセンに建設され、現在では競走馬のトレーニング方法の一つとして定着し、多くの競走馬が利用しています。
- ・ プールは 1 周約 40m、深さ 3m のドーナツ型の円型プールで、水量は 530 m³になります。
- ・ 馬の比重は 0.95 程度です。浮力がかかるため肢に負担をかけることはありません。水圧により、心肺機能の鍛錬になります。推進力は後肢で得るため、特に後肢の筋力トレーニングに最適です。
- ・ リハビリ初期に肢に負担をかけずにトレーニングをしたいとき、または騎乗調教を実施している際に、心肺機能を鍛える補助的なトレーニングとして利用します。馬の性格等も影響しますが、1 周約 30~40 秒で 3 周~5 周くらい泳がせます。